

## ■会場

□場所：  
沖縄県青年会館大ホール  
〒900-0033  
沖縄県那覇市久米 2-15-23

□交通：  
◆バス 那覇バスターミナル  
下車徒歩10分  
◆モノレール 旭橋駅下車  
徒歩5分

□駐車場案内：  
◆30台収容の駐車場を地下1階に完備。

※車いすに対応したトイレは1階にあります。



## ■申込み方法 定員 100名

下記宛先まで、別紙の内容をご記入の上お送り下さい。

□申込先：ファックス 03-6311-8459 / 電子メール：info@suko-machi.net

□宛先：特定非営利活動法人健やかまちづくり事務局

定員になり次第〆切とさせていただきます。予めご了承下さい。

## ■懇親会のご案内

以下の日時で懇親会を予定しております。情報交換の場ですので、セミナー中に質問できなかったことなど発表者等に直接伺う機会としてご活用下さい。

□日時：平成25年5月22日（水） 17:30~18:30

□場所：沖縄県青年会館

□会費：500円 当日徴収いたします。

主催 特定非営利活動法人健やかまちづくり

後援（予定）国土交通省、内閣府沖縄総合事務局

問合せ 特定非営利活動法人健やかまちづくり事務局 担当：佐藤、吉田

TEL 03-6311-8458 / FAX 03-6311-8459

# 沖縄における バリアフリー・情報 セミナー

参加費  
無料

平成25年5月22日（水） 13:15~17:00

我が国のバリアフリーは2000年の交通バリアフリー法が施行され、ある程度の成果が見られるようになりました。また観光についても2008年10月に発足した観光庁によって様々な施策が展開されてきました。

今回は、情報の観点から「バリアフリー」と「観光」にスポットを当て、現在までの政策・技術・地域での展開などを沖縄の地で議論させていただくために2日間のセミナーを計画しました。

第Ⅰ部 5/22（水） バリアフリー・情報  
第Ⅱ部 5/23（木） 観光・情報

本案内は第Ⅰ部「バリアフリー・情報」になります。

## 基調講演

- ✓ 利用者からみた情報のバリアフリー
- ✓ 新しい情報環境のこれから

## 国土交通省・沖縄の交通とバリアフリー政策

- ✓ 沖縄県における交通の現状と課題
- ✓ 災害時・緊急時のバリアフリー化と情報提供のあり方
- ✓ 交通事業者向けバリアフリー教育訓練研修について

## バリアフリーと情報の最近の動き

- ✓ 宮古島市バリアフリー基本構想の取組
- ✓ 沖縄モノレールにおける取組
- ✓ 東京地域におけるバリアフリー基本構想の取組
- ✓ バリアフリー分野におけるICT利活用の取組

## ■プログラム

平成 25 年 5 月 22 日 (水) 13:15~17:00 (13:00 開場)

時間	内容
13:15	<b>あいさつ</b> NPO 法人健やかまちづくり理事長 秋山哲男
13:30	<b>基調講演</b>
13:30	<b>利用者からみた情報のバリアフリー</b> NPO 法人健やかまちづくり理事長 秋山 哲男 バリアには物的、情報、制度、偏見等のバリアがある。特に、情報障害者と言われている、視覚障害者、聴覚障害者がどのような問題を抱えているか、またこうした情報障害者の対応をどのように行っているか、将来どのような問題が起こり得るかについてお話しします。
14:00	<b>新しい情報環境のこれから</b> NTT サービスイノベーション総合研究所 金丸 直義 私たちの生活環境は、光ファイバ、Wi-Fi (ワイファイ)、インターネット、スマートフォン等の様々な新たな通信手段・システムと深く結びつき、これらの情報システムを抜きに生活は成り立ちません。ここでは主として供給側の観点から、情報がどのように発展し、現在どのような役割を果たしているのか、また将来情報環境はどのように変化するのかなどを、分かりやすくお話しします。
14:20	<b>国土交通省・沖縄の交通とバリアフリー政策</b> 沖縄県における交通の現状と課題 内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室長 小野 協子 災害時・緊急時のバリアフリー化と情報提供のあり方 国土交通省総合政策局安心生活政策課課長補佐 杉浦 美奈 交通事業者向けバリアフリー教育訓練研修について 交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部企画調査課長 松原 淳
15:10	<b>休憩</b>
15:30	<b>バリアフリーと情報の最近の動き</b> 宮古島市バリアフリー基本構想の取組 宮古島市建設部都市計画課 荷川取 勝広 沖縄モノレールにおける取組 沖縄都市モノレール株式会社 黒島 隆 東京地域におけるバリアフリー基本構想の取組 八千代エンジニアリング株式会社 別府 知哉 バリアフリー分野における ICT 利活用の取組 NTT アドバンステクノロジー株式会社 海保 裕一
16:30	<b>質疑・討論</b>
17:00	<b>閉会</b>
17:30	<b>懇親会(～18:30)</b>

司会：八千代エンジニアリング株式会社 別府、北野、山岸

## ■発表者略歴

### 秋山 哲男

特定非営利活動法人健やかまちづくり理事長



日本福祉のまちづくり学会副会長。東京大学 (工学博士)、東京都立大学の都市科学・首都大学東京・観光科学で教授を務め、国土交通省バリアフリーのガイドライン・大臣賞の選考委員長などを歴任。

### 金丸 直義

NTT サービスイノベーション総合研究所 主幹研究員



NTT 研究所にてロボット、画像処理、センサ情報処理等の研究開発に従事。ICT 技術を活用した新サービスの企画・開発を担当しており、まちづくりへの ICT 適用に取り組む。博士 (工学)。

### 小野 協子

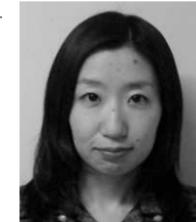
内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室長



国土交通省入省後、海事局、都市・地域整備局、情報管理部建設統計室等の業務を経験し、航空局安全部安全企画課課長補佐を経て、平成 24 年 4 月より現職。沖縄の交通政策、バリアフリー推進、観光振興等を担当。

### 杉浦 美奈

国土交通省総合政策局安心生活政策課課長補佐



国土交通省入省後、住宅局、都市局等でまちづくり行政に従事する他、地方自治体への出向等を経験し、平成 24 年 4 月より現職。国土交通行政に係る高齢者、障害者等対策や、バリアフリー施策の企画・立案等を担当。

### 松原 淳

交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部企画調査課長



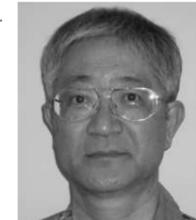
バリアフリー、ユニバーサルデザイン、交通、道路、まちづくり、自転車などに携わってきたが、自身が、麻痺が残る大病を患い、復活後は身をもって健やかとは何かを問い続ける。事件は現場からが持論。

### 荷川取 勝広

宮古島市建設部都市計画課

### 黒島 隆

沖縄都市モノレール株式会社 業務部長



沖縄県入庁、ミバエ対策事業所、下水道課、モノレール対策室、施設建築課等を経て平成 25 年 4 月 1 日より現職。人にやさしいモノレールであるために行動します。

### 別府 知哉

八千代エンジニアリング(株)総合事業本部社会計画部課長



まちづくりの視点からバリアフリーに取り組む。首都圏を中心にバリアフリー基本構想策定を数多く手がけ、交流促進、地域活性化、防犯まちづくり、サイン計画、自転車計画など幅広く活動を展開。

### 海保 裕一

NTT アドバンステクノロジー(株)アプリケーションソリューション事業本部営業 SE 部門担当部長



日本電信電話公社入社、NTT 電気通信研究所、NTT 東日本法人営業(公共)を経て、NTTAT にてバリアフリー情報等の高付加価値情報提供システムの検討・構築に従事(現職)。日本福祉のまちづくり学会会員、電子情報通信学会会員。